

毎号、研究員をクローズアップして、業務内容や仕事に対する思いをご紹介します。



Vol. 04

材料技術グループ
研究員

おぐみ けいすけ
小汲 佳祐

大学院時代の専門は有機薄膜太陽電池の研究。現在も、高性能な有機半導体材料開発を目指す。福島県出身。趣味はウインタースポーツ。



子供の頃から実験が大好き



地元福島の人と趣味のスノーボードへ

困難を乗り越え、お客さまの期待に沿った結果が出せたときの達成感は何ものにも代え難い

東京という都市のために 自分の技術・研究を役立てたい

私が現在携わっている業務は、大きく分けて2つあります。1つ目は依頼試験などの中小企業への技術支援、2つ目は研究開発を行うことです。依頼試験では、製品に使用する材料の製造過程で出る異物は何か、食品の中に含まれている異物は何か、といったことを調査・分析する業務を担当しています。

就職活動の際の第一志望は、都産技研でした。それは自分が学生生活を送ってきた東京という都市に、何か恩返しをしたい、自分の学んできたことを

活かし、役立てることができたらと考えたからです。

現在の業務は、まさにそんな私の希望を叶えられるものです。接するお客さまの熱意に触れる機会も多く、いつも心して業務にあたらなければならないと思っています。困難と思われたお客さまのご相談に試行錯誤の末、期待に沿った結果が出せたときの達成感は何ものにも代え難いですね。

夢は、有機薄膜電池の 高性能素材を開発すること

私が研究している有機薄膜太陽電

池は、クリーンエネルギーとして注目を集める分野ですが、製品化には課題も多く残っています。従来の無機型に比べて、光を照射したときの変換効率が低く、経年劣化においても改善が必要です。

しかし、軽量性に優れ、柔軟性の高い有機薄膜太陽電池なら、将来、建物の壁面にコーポレートカラーの太陽電池を取り付けることも可能になります。そんな有機薄膜太陽電池の高性能材料を作り出し、製品として世の中で広く使われるようにすることが私の夢です。

お問い合わせ 材料技術グループ<本部> TEL 03-5530-2646



管理部門編

環境安全管理室
主事
いちかわ たかし
市川 崇

都産技研の事業を施設管理で支える

私は、環境安全管理室において都産技研本部の施設管理を担当しています。主要業務の一つは、本部設備の保守・点検で、研究員の業務に支障が出ないように配慮し作業を進めています。この業務は「最後までクレームがない」ことが当然です。クレームゼロを目指し、お客さまと職員が安全に利用でき

る施設にするために、日々業務に取り組んでいます。

現在は、ロボット事業推進部の新拠点整備工事も担当しています。中小企業に対するロボット開発支援は、都産技研の重点分野の一つで、その一翼を担えることにやりがいを感じています。

お問い合わせ 環境安全管理室<本部> TEL 03-5530-2820